

大阪行政相談委員協議会機関誌

あし

令和7年9月

第40号



'25 9

CONTENTS

〔巻頭言〕	挨拶	交野市長・山本 景	2
〔寄稿〕	挨拶	近畿管区行政評価局長・竹中 一人	3
〔令和7年度行政相談委員全体会議から〕		近畿管区行政評価局行政相談課	4
〔寄稿〕	南越前町における行政相談活動の取り組み	福井地相協・尾崎 政代（南越前町）	6
〔委員活動報告から〕	行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例	塚本 公春（守口市）	7
	委員が受け付けた行政相談の例		
	三田 和夫（大阪市淀川区）、前川 順子（豊中市）、河野 順子（守口市）、藤田 毅（松原市）		8
〔自己紹介〕	新任委員さんこんにちは!!（令和6年9月から令和7年7月までの委嘱委員）		9
	大阪第1支部：永井 明美（大阪市都島区）、後藤 美里（大阪市此花区）、福田 留美（大阪市西淀川区） 秋山 龍也（大阪市西淀川区）、長谷川能一（大阪市旭区）		
	大阪第2支部：村上 使子（大阪市天王寺区）、河合 雄一（大阪市住之江区）、中嶋 孝仁（大阪市住吉区） 辻江 正幸（大阪市平野区）、八野 敏子（大阪市平野区）		
	北摂支部：釣船由美子（豊中市）、池田 昭（吹田市）、戸嶋 節子（高槻市）、長谷川 昇（高槻市）		
	河内第1支部：瀬戸ひろみ（枚方市）、柳瀬寿美子（寝屋川市）、上邨 浩隆（四條畷市）		
	河内第2支部：横尾 五男（柏原市）、永尾 明（松原市）		
	泉州支部：阿萬 政子（堺市中区）、尾西 正雄（堺市東区）、分領 雅之（堺市南区） 道井 啓右（泉大津市）、頓花 伸二（岸和田市）、井谷さとみ（田尻町）		
〔地相協研修会〕	令和6年度大阪行政相談委員協議会研修会報告	研修委員会 委員長・前川 優	11
〔各委員会からの活動報告〕			
	研修委員会	研修委員会 委員長・前川 優	12
	編集委員会	編集委員会 副委員長・松浦 隆行	12
	相談業務委員会	相談業務委員会 委員長・井田 一裕	13
	広報委員会	広報委員会 副委員長・乾 敦子	13
	ホームページ運営委員会	ホームページ運営委員会 委員長・西野 房男	14
	男女共同参画委員会	男女共同参画委員会 副委員長・富田 久子	14
〔自主研修会〕			
	大阪第1支部	福田 留美（大阪市西淀川区）	15
	大阪第2支部	長田 幹雄（大阪市住之江区）	15
	北摂支部	間石 成人（高槻市）	16
	河内第1支部	楠 好子（寝屋川市）	16
	河内第2支部	河合 雅世（東大阪市）	17
	泉州支部	前川 優（泉南市）	17
		吉原 隆（大阪市福島区）	18
		乾 敦子（大阪市東住吉区）	18
		内田 幸代（茨木市）	19
		平井 正文（交野市）	19
		加茂 守一（東大阪市）	20
		橘本 正義（忠岡町）	20
	ショート・ショート	三田 和夫（大阪市淀川区）、福留 千佳（大阪市西成区）、平安 孝至（池田市）	
〔昭和から100年へ最も変わったことは?～〕		交久瀬和広（枚方市）、小路 庸吉（太子町）、富田 久子（堺市西区）	21
〔私の住む町〕	〈MY TOWN 大阪市住吉区〉	宮川 成雄（大阪市住吉区）	22
〔大阪あれこれ〕（第十回）	大阪の渡船は今	松浦 隆行（大阪市城東区）	23
編集後記			24

►〔題字〕

總本山四天王寺
出口常順 元管長 揮毫

▶〔表紙写真〕真住橋(大阪市住之江区)

真住橋は、住之江区内を東西に流れる住吉川（一級河川）に架かる橋長26m幅員6.5mの人道橋です。平成5年4月大阪市立真住中学校が設開校に伴い、通学の利便性を考慮され平成5年3月に完成しました。33年目を迎えた真住橋は、付近の桜並木に囲まれ、清掃された散歩道との中継点としても、地域住民に大変親しまれています。

写真と文 長田 幹雄(大阪市住之江区)

巻頭言



挨拶

大阪行政相談委員協議会の皆様には、平素から交野市行政全般にわたり格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

皆様方におかれましては、市民に最も近い窓口として、日々寄せられる様々な相談や行政に対するご意見等について、的確なご助言をいただき、市民生活の向上に大きく寄与されておりますことに、改めて心から感謝と深い敬意を表します。

本市は、大阪府と奈良県の県境に位置し、市域の中央部には天野川が流れており、市内には数多くの七夕ゆかりの地や伝説が残っております。毎年7月には、天野川沿いにあんどんやガラスランタンが灯され、幻想的な雰囲気の中、交野市民手づくりによる「天の川七夕まつり」が開催され、多くの人で賑わいます。

令和7年は、終戦80年の大きな節目の年です。私たちはあらためて過去の戦災を振り返り、戦争の悲惨さや、平和の尊さ、命の大切さを再認識し、平和な社会を実現しなければなりません。しかし、戦争経験者が高齢化する中、子ども達にどの様にして戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていくか、大きな課題となっています。本市では、例年8月に、平和施策の一環として、平和祈念のつどいとして映画を上映しており、今年は原爆に関する作品を上映する予定です。また、戦争体験を募集し、これまでの原稿とあわ

交野市長 山本 景

せて広島・長崎に関する内容でとりまとめたものを冊子にして発刊する予定です。

さて、去年は、年明けの能登半島地震を始め、各地での地震や台風、豪雨被害等により今もお避難を余儀なくされ、不自由な生活を強いられている方々がたくさんいらっしゃいます。激甚化・頻発化している自然災害に対する備えとして、防災各種寄付金の活用により、交野市の財政負担を圧縮しながら、トイレトラック1台、トイレカー2台、シャワートラック1台を配備し、トイレトラックについては、今年1月に石川県輪島市へ派遣いたしました。今後は、全国自治体初のランドリートラックを配備する予定となっております。また、指定避難所となっている小中学校の体育館へのエアコン設置を順次計画的に進めており、同時に防災井戸整備も進め、本年度に福祉避難所である交野市立保健福祉総合センターに従来よりも高性能な防災井戸を整備いたします。

本市の将来像である「みんなのところが 和むまち かたの」を実現すべく、古くからの伝統と緑豊かな自然との調和を図りながら都市整備を進め、市民の皆様の安全、安心を守りながら市政を発展させていく所存です。

結びに、行政相談委員協議会の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。



挨拶

近畿管区行政評価局長 竹中 一人

7月1日付で近畿管区行政評価局長を拝命しました竹中一人です。これからよろしくお願いいたします。令和5年7月に北海道管区、令和6年7月に中部管区の行政評価局長をそれぞれ務め、今回、いよいよ西遷して浪速入りを果たしたという感じがします。行政相談委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。今まで全国の管区局を出張等で行きましたが、今回の異動で近畿管区に着任したことにより、未踏の管区行政評価局・支局がなくなりました。残念ながら事務所・センターは行っていない場所の方が多いです。

お上りさんであり、畿内には縁がないと思っていたのですが、先日岐阜の実家に帰った時に聞かされた話では、1449年（宝徳年間）より私のご先祖様一行が河内国（大阪府）南丹郡狹山内日置庄の地から美濃国（岐阜県）本巢郡山口村に鋳物師として移り住んだようです。また、山口村は河川交通の重要な場所にあったことから、大阪の住吉大社の分社があります。これも何かご縁を感じます。最近では、5月下旬に万博に行きましたが、昭和45年の大阪万博の時はまだ母のお腹の中にいました。

これまで総務省を含め様々な部局で業務を経験してきました。本省の行政評価局でも通算4年勤務しましたが、行政相談委員との関わりでは令和2年春に行った『新型コロナウイルス感染症対策の情報提供と高齢者-行政相談委員からの聞き取り-』の責任者でした。行政評価局以外では、埼玉県警察・交通部の警察官、米国

での大使館勤務、内閣広報室でのコロナワクチン接種のための広報、公務員行政、公益法人業務などを担当しました。

管区の行政評価局長になってからは、行政相談委員と懇談の機会を得るために多くの自主研修会への参加や皆さんの活躍の場の一つである行政相談所・ブースへの訪問をさせていただきました。お誘いいただき、時間が合えば近畿でも参加・訪問させていただきたいと存じます。

今年度は行政相談委員の委嘱替えの年でした。まずは行政相談委員を引き受けていただきありがとうございます。幾期にもわたって委員を引き受けてくださった方もいれば初めて委嘱された方もいらっしゃると思います。当局は全力で委員活動を支援いたしますので、困ったことや活動についてのご提案などございましたら事務局にご連絡いただければと存じます。

今年6月13日に政府から示された「地域創生2.0 施策集」において、行政ボランティアとしての行政相談委員の地域課題解決のための重要性が改めて示されたところです。皆さんが行政相談を通じて様々な住民の声を当局に届けていただいていることに改めて感謝いたします。当局としても、届けていただいた声を暮らしやすい社会に貢献できる行政に変換できるように頑張っています。

最後に、皆さまのますますのご健勝と一層のご活躍を心よりお祈り申し上げ、着任のご挨拶とさせていただきます。

令和7年度行政相談委員全体会議から

令和7年度行政相談委員全体会議（以下「全体会議」という。）及び大阪行政相談委員協議会（以下「地相協」という。）総会が、5月30日（金）、ホテルアウリーナ大阪（大阪市）において開催されました。

はじめに、原嶋 清次 近畿管区行政評価局長の挨拶がありました。続いて、来賓の大阪府知事（代理：新道 英樹 府政情報室長）、大阪市長（代理：忍 康彦 市民情報部長）及び堺市長（代理：河盛 俊生 広報戦略部長）からの御祝辞をいただき、大阪府市長会会長及び大阪府町村長会会長の連名での祝電を披露しました。

行政相談に功労のあった委員に対して、近畿管区行政評価局長、全国行政相談委員連合協議会会長及び近畿行政相談委員連合協議会会長からの表彰状・感謝状が贈呈されました。また、令和7年春の褒章受章者等の披露が行われました。

続いて、近畿管区行政評価局から令和6年度の行政相談業務実績及び令和7年度の行政相談業務計画、行政相談重点方針などについて説明を行いました。

◎令和7年度近畿管区行政評価局長表彰（6名）

奥小路 了	委員	（大阪市旭区）
交久瀬和広	委員	（枚方市）
祢垣 悟	委員	（交野市）
森田 明彦	委員	（東大阪市）
松倉 正能	委員	（八尾市）
山本 政子	委員	（岸和田市）

◎令和7年度近畿管区行政評価局長感謝状（23名）

山田 忠彦	委員	（大阪市西区）
佐野 悦子	委員	（大阪市住之江区）
栗野太一郎	委員	（大阪市東住吉区）
浦崎 克明	委員	（大阪市平野区）
西前 雅晴	委員	（大阪市西成区）
福田みどり	委員	（豊中市）
田畑 良信	委員	（能勢町）
鴻野 芳樹	委員	（豊能町）
桐山 一子	委員	（高槻市）
仲田 充子	委員	（高槻市）
内田 幸代	委員	（茨木市）
竹林 巧	委員	（茨木市）
大砂 渉	委員	（摂津市）



令和7年5月30日 令和7年度 行政相談委員全体会議 於 ホテルアウリーナ大阪

上村 高義 委員 (摂津市)
 中川 依理 委員 (島本町)
 比良 純高 委員 (八尾市)
 中辻 秀和 委員 (堺市堺区)
 中出 茂樹 委員 (堺市中区)
 西田 幸子 委員 (岸和田市)
 板東 正人 委員 (岸和田市)
 土原こずえ 委員 (泉佐野市)
 阪上 清隆 委員 (熊取町)
 大谷 晃男 委員 (田尻町)

◎令和7年度全国行政相談委員連合協議会会長
表彰 (3名)

野上 俊二 委員 (大阪市中心区)
 黒田 美子 委員 (大阪市阿倍野区)
 石田 賀享 委員 (高石市)

◎令和7年度近畿行政相談委員連合協議会会長
表彰 (7名)

井田 一裕 委員 (大阪市東淀川区)
 水口 博司 委員 (大阪市浪速区)
 前川 順子 委員 (豊中市)
 池田 隆司 委員 (寝屋川市)
 仲谷 徳雄 委員 (河南町)
 龍神 和夫 委員 (貝塚市)
 奥野ひろみ 委員 (岬町)

地相協令和7年度総会
事業計画・予算案など審議

全体会議終了後、地相協の総会が開催されました。加茂 守一 副会長の司会・進行の下、議長には川崎 睦子 委員が選出され、議案の審議が行われました。令和6年度事業報告及び収支決算報告、監査結果報告の説明・審議後、承認されました。



大草 亘 会長 ご挨拶

次に、令和7年度事業計画案及び収支予算案について説明、審議が行われ、いずれも原案どおり可決、承認されました。

令和7年度の役員体制

(敬称略)

役職名	氏名
会 長	大 草 亘
副会長	石 川 勝 啓
副会長	加 島 早 織
副会長	河 野 順 子
副会長	加 茂 守 一
副会長	山 村 武 子
総務局長	山 本 文 雄
会計理事	川 西 勝 久
理 事	石 川 忠 秀
理 事	野 上 俊 二
理 事	乾 敦 子
理 事	黒 田 美 子
理 事	坂 本 安 敏
理 事	入 江 和 廣
理 事	大 砂 涉
理 事	交 久 瀬 和 広
理 事	高 萩 佳 由
理 事	森 田 明 彦
理 事	河 原 純 子
理 事	松 本 啓 子
理 事	塩 尻 春 夫
理 事	板 東 正 人
相談業務委員長	井 田 一 裕
研修委員長	前 川 優
広報委員長	羽 田 清 彦
編集委員長	原 さ つ き
男女共同参画委員長	辻 本 友 子
ホームページ運営委員長	西 野 房 男
監 事	那 須 厚 郎
監 事	松 浦 隆 行



南越前町における行政相談活動の取り組み

福井地相協 尾崎政代（南越前町）

私が住んでおります南越前町は、福井県の中央部に位置する、山あり海あり里ありの自然豊かな町です。平成17年1月1日に南条町、今庄町、河野村が合併し南越前町となりました。人口減少、少子高齢化は免れられませんが、街の幸福度、住みこちランキングは2年連続県1位、子育て世代に優しい町としても知られています。合併前の地区に1名ずつ、計3名の委員が、それぞれの地区で定例相談を行っており、私は今庄地区で開設しています。委員を拝命した時は不安もありましたが、出来ることから始めてみよう、民生委員会議で相談委員制度について説明しました。早速翌月の定例相談日に、荒廃した炭焼き小屋の撤去についてのご相談があり、福井行政監視相談センターのご協力を頂きながら対応しました。民生委員の中にも、制度についてご存じない方がいるということを知り、改めて制度の認知度を高める活動が必要だと考え、積極的に広報活動に参加するようになりました。活動を通して色々な方々とお会いし、思いを伺うことも、委員としてのモチベーションアップに繋がっています。

昨年6月に実施した南越前中学校1年生を対象とした出前教室では、事後アンケートから、中学生も自分の住む町に関心を持ち、地域をよく見ていることがわかりました。全ての要望を改善することは出来ませんでした、相談することが解決に繋がるということは伝えられたようです。

11月に行われた合併20周年記念音楽祭では、ボールペンやティッシュ等の啓発グッズを来場者に配布しました。風船も人気でしたが、会場内に持ち込むお子さんもいて演奏中に割れないかハラハラドキドキ。担当職員の方には申し訳なかったのですが、幅広い年齢層に制度をお知らせするよい機会となりました。

また、数年前から例年8月に越前町で行われているO・TA・I・KO響での広報活動にも参加しています。夏に人気のグッズはうちわや風船ですが、あまりの暑さに風船が膨脹して割れやすいのが難点です。配布後、夜風に当たりながら太鼓の演奏を聴くのも楽しみの一つで、昨年は大黒摩季さんの歌と太鼓のコラボがとても力強く迫力がありました。

相談委員になり、学びの機会も増えました。南越前町単独での研修も毎年実施しており、昨年度は、和歌山県担当委員懇談会にオンラインで参加させていただきました。地域は違っても思いは同じだということに安堵感を持つとともに、私も頑張ろうという気持ちになりました。研修後は地域特産のそばを打ち、食して親交を深めるのが恒例でしたが、近年はコロナ禍の影響で中止となっています。今年は再開出来るでしょうか。

相談者に寄り添い、話を傾聴出来る相談委員となれるよう努めてまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

行政の制度・運営の改善を求める委員意見の例



塚本 公春
(守口市)

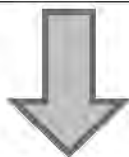
(委員意見の要旨)

私が受け付けた行政相談において、「出生等による健康保険の扶養認定の届出時、年金事務所に健康保険被扶養者（異動）届の添付書類として住民票の写しのコピーを提出したが、年金事務所から原本ではないとの理由で受理してもらえなかった。」という相談があった。

当該届の様式を確認すると、裏面に「(a) 扶養認定を受けるための続柄の確認のため、提出日から90日以内に発行された戸籍謄（抄）本または住民票を添付してください。」と記載されている。

一方で、日本年金機構のホームページに掲載されている当該届の説明資料では、「1 続柄確認のための書類」として「住民票の写し（コピー不可・個人番号の記載のないもの）」と表記されている。

当該届の様式にある「住民票」との記載は、正しくは「住民票の写し」であり、一般国民の中には、「写し」と「コピー」を混同する者もいると考えられるので、当該届の裏面（a）にも、ホームページと同様の内容で表記すべきである。



検討状況等

委員意見のとおり、届の様式に記載されている添付書類の説明は、資料の名称が不正確な上、コピーは不可とされておらず、行政相談にあるように住民票の写しのコピーでよいとの誤解を招くおそれがあることから、日本年金機構に対し、様式を見直す必要性について照会を行った。

この結果、日本年金機構から、届の様式の表記をホームページの表記と同一にするよう検討するとの回答が得られ、この旨総務省行政評価局に報告を行った。

委員意見は、委員活動を通じて得られた意見を行政運営の改善に役立たせる貴重な手段です

令和6年度における大阪府内の委員意見の提出件数は9件でした。

提出された委員意見は総務省行政評価局の幹部会で報告され、必要に応じて局所、本省の順に関係機関等に意見聴取や実態調査を行い対応方針の検討を行っています。

委員が受け付けた相談の例

相談のあらまし	措 置 状 況	報告委員
平成 30 年に亡くなった夫が C 型肝炎に罹患したことがあるので、国による救済制度があるのかについて教えてほしい	相談を受けた委員からの提報を受け、局で国の救済制度を確認（特別血液製剤が原因の C 型肝炎については救済対象）し、相談者に説明するとともに、医薬品医療機器総合機構等の専門の相談窓口を紹介しました。 その後、相談者は同機構に問い合わせをし、本件については救済の対象とならないとの回答を受けて納得し、申請は断念しましたが、後日、委員宛てにお礼の手紙が届きました。	 三田 和夫 (大阪市淀川区)
通学路となっている府道交差点の安全柵が先日の事故で壊れて撤去されている。この場所はよく事故が起こるので、再度安全柵を設置してほしい	この交差点ではよく事故が起こり、先日も事故が発生して安全柵が壊されました。 相談を受けた委員が当局に提報し、当局から道路を管理する大阪府（土木事務所）に連絡した結果、安全柵が再設置（写真奥）されたことに加え、相談者の要望を受け、新たに車止めポールが設置（写真手前）され、さらなる安全対策が講じられました。 安全柵の再設置と車止めポールの新設が行われました。 	 前川 順子 (豊中市)
郵便局の移転に伴い廃止された郵便ポストを再度利用できるようにしてほしい	相談を受けた委員からの提報を受け、局から日本郵便（株）近畿支社に相談内容を連絡し、同社の対応方針について照会を行いました。 同社からは、「当該ポストは道幅が狭い場所に設置されている等の理由で土地所有者から撤去の要望があり、地元自治会役員にも説明し、撤去の了解を得ているが、近隣の別の場所に郵便ポストを新設した。」との回答がありました。 近隣に新たに郵便ポストが設置されました。 	 河野 順子 (守口市)
市道の端の一部が陥没しているので、修繕してほしい	A 町会の水利組合長からの相談を受け、委員が市の担当課に連絡し、相談者、市職員とともに現地を確認した結果、陥没の原因が判明（隣接する水利組合の農業用水路が原因）し、担当課において応急処置が行われました。	 藤田 毅 (松原市)

新任委員さん

こんにちは!!

令和6年9月から令和7年7月1日付までの委嘱委員さんからのひと言

氏名（担当区域）①趣味・特技・健康法等、②好きな言葉（座右の銘）、③最近印象に残ったことなど



ながい あけみ

永井明美（大阪市都島区）

①街道ウォーキング

東海道、龍馬脱藩の道、家康伊賀越えの道を歩きました。歴史が動いたことを感じます。5街道完歩を目指し、現在中山道を歩いています。

②我以外皆我師

③関西万博の会場ボランティアをしています。道案内や食器のリユース案内などです。言葉がわからなくても大丈夫、なんとか通じるものですね。お見送りをしていると、日本人も外国の人達も笑顔で駆け寄ってハイタッチしてくれます。ボランティアのユニホームも意外と似合っている自己満足してボランティアを楽しんでいます。



かわい ゆういち

河合雄一（大阪市住之江区）

①趣味: ボランティア活動

特技: 仕事

健康法: 毎日の早起き

②「無理せず、怠けず」

③行政相談に来られた方の事案。先輩相談員の提案



なかじま たかひと

中嶋孝仁（大阪市住吉区）

①・旅行、四季折々の旬の食材を楽しむ

・先読み力

・サウナに入る。よく寝る。

②時を守り、場を清め、礼を正す

③家族の助け合い



ごとう みさと

後藤美里（大阪市此花区）

①読書・旅行

②時間は有限、努力は無限、後悔は永遠

③まだまだ先のことだと思っていた“2025大阪・関西万博”が無事開催されたこと。



ふくだ るみ

福田留美（大阪市西淀川区）

①ドライブ、神社巡り、アロマクラフトなど

②頼まれごと、試されごと

引き受けることで、自分の成長や新たな発見が得られる。

③大谷翔平選手のメジャーでの活躍にワクワクしました。50・50達成、チームのワールドシリーズ制覇にも大きく貢献し、満票でMVPを受賞され楽しませてくれたこと。



あきやま たつや

秋山龍也（大阪市西淀川区）

①・テレビ放映されるスポーツ鑑賞(相撲、アメリカンフットボール、陸上等)

・毎日10000歩以上歩くことをしています。

②長年継続していることに意義がある。

③防災リーダー研修や消防訓練によく参加しますが、他人のする事をみるのと自分がするのでは大きな違いがあります。

まず自分が実践することによって自分のものになると感じます。



は せ がわ よしかず

長谷川能一（大阪市旭区）

①友人らと30年前に作ったソフトボールチームで区のリーグに加盟し、月1回程度試合、その後みんなと楽しくお酒を飲むことです。

②「継続は力なり」

物事は継続して続けることでこそ結果が出

ることを意味する言葉です。

③1歳半になる孫が会うたびにしゃべる言葉が増えており、子どもの成長って早いなと感じています。



つりふね ゆみこ

釣船由美子（豊中市）

①趣味: 歌を歌うこと(豊中市合唱協会のコーラスグループ、コール花音に所属、週1回練習)

健康法: 管理栄養士で仕事柄太れず体重増減のないように調整

②なるようになる

③大阪関西万博のドローンショー



いけだ あきら

池田 昭（吹田市）

①小型船舶操縦、ゴルフ、スキー、マラソン



むらかみ つかこ

村上使子（大阪市天王寺区）

①趣味は、手芸やガーデニング等何かを作ることです。

特技と言えものは特にありません。

健康法は、よく喋り、よく笑うことです。

②「一球入魂」

中学・高校時代テニス部でした。今もこの言葉を思い出すと気合が入ります。

③孫のランドセルを見に行った時、カラフルで種類が多かったこと。



とじま せつこ

戸嶋節子（高槻市）

①歴史が好きなので、高槻市文化財スタッフの会に入会して歴史館の手伝いをしています。高槻市内の古墳が史跡を巡り、ガイド活動をおこなっています。

②「継続は力なり」が好きです。地道に続けることが大切だと思っています。

③大阪万博に行きました。最先端のテクノロジーの一端に触れて、未来への希望を感じました。



は せ が わ の ぼ る
長谷川 昇 (高槻市)

- ①趣味は、アユの友釣り及び旅行です。行く先々で新たな発見や見知らぬ人たちの出会いというものを楽しみにしています。
特技と言えるかはわかりませんが、よく手先が器用だと言われます。

私の健康法は、足腰の老化を防ぐため月1回のハイキング(低山や街歩き)を無理のない範囲で行っています。

- ②好きこそものの上手なれです。
③一度の人生のうちで大阪において開催された2度目の万博に行けたことです。55年前の記憶が懐かしく甦りました。



せ と
瀬戸ひろみ (枚方市)

- ①ガーデニング、旅行
②丁寧な暮らし
③ベランダの大好きなネモフィラがきれいに咲いたこと



や な せ す み こ
柳瀬寿美子 (寝屋川市)

- ①趣味は携帯ゲーム、脳トレゲームにハマっています。
健康法は歩くこと。一人では寂しいので孫を誘って歩いています。

- ②継続は力なり
③小6の孫が、カレーを作ってくれました。成長した孫に感激しました。



う え む ら ひ ろ た か
上邨浩隆 (四條畷市)

- ①日本100名城(日本城郭協会選定)を達成し、今は続100名城に挑んでいます。これまでに計170城を訪れました。四條畷市の飯盛城もその一つです。

②「もし、だれかがあなたの右の頬を打つなら、左の頬もむけてやりなさい」(新約聖書マタイ伝)。この節を知ってから50有余年、ただの一度も実践できずにおります。

- ③並ばないが売りの万博なのに、すぐく並ばれます。事前予約をしようとスマホでサイトを開いたら、アクセス待ちで1時間。行政相談委員に相談しようかな。



よ こ お い つ お
横尾五男 (柏原市)

- ①・博物館、美術館めぐり
・自転車で近隣市町村の名所を訪問する
②我以外、皆、我が師
③昨年末、免許証・マイナンバーカード・現金等が入った鞆を落とし、見つからないのではとあきらめておりましたが、数日後警察署に届けられ無事戻ってきました。



な が お あ き ら
永尾 明 (松原市)

- ①卓球、ゴルフ
②誠実
③アメリカ大統領選挙



あ ま ん ま さ こ
阿萬政子 (堺市中区)

- ①好きな音楽を聞くこと(サザンオールスターズ、さだまさし)
家をスッキリ片付けたいと必要なものを残して捨てる努力中。

- ②ス直
③近くの歯科医院が隣家の火災による類焼被害甚大で閉院。残念。火事の類焼被害に火元からの保障がないと聞き、知らなくてびっくりした。「火の用心」



お に し ま さ お
尾西正雄 (堺市東区)

- ①60歳で定年退職した後は、野菜作り、米作りが人生後半の仕事であり、趣味でもあります。
②人間万事塞翁が馬
③野球の 大谷翔平選手、将棋の 藤井聡太竜王・名人、相撲の横綱大の里など、あくなき向上心を持った若手の台頭



ぶ ん り ょ う ま さ ゆ き
分領雅之 (堺市南区)

- ①トライアスロン等レース参加が趣味です。宮古島ストラングマンレース(スイム3km、バイク123km、ラン30km)完走が最長記録です。長く・永くをモットーに日々練習に励んでいます。

- ②「疾風に勁草を知る」逆境にも負けない、しなやかで地に足のついた人生を歩みたいと思っています。
③大阪・関西万博のボランティアとしてテストランに参加しました。壮大な大屋根リングは一見の価値ありです。会場等で皆様とお会いできることを楽しみにしています。



ど い ひ ろ あ き
道井啓右 (泉大津市)

- ①スポーツ鑑賞、絵手紙作成、ジムで軽スポーツ
②「これでいいのだ」日々幸せに生きていこう
③自治会長をやっています。町会の皆さんの協力がとてもありがたいです。



ど ん が し ん じ
頓花伸二 (岸和田市)

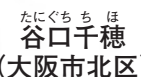
- ①登山(中低山を中心に)
②人の背中は見えても、自分の背中は見えない
③「わかりやすい」という言葉が気になることがあります。

無理に難しく考える必要はありませんが、「わかりやすい」の中で、大事なことが除かれているのではないかと考えてしまうことがあります。「わかりやすい」に惑わされず、深く事象を考えるように心掛けたいと思います。



い た に さ と み
井谷さとみ (田尻町)

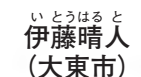
- ①趣味:パズル(主に数独とイラストロジック)、読書、音楽鑑賞
②情はひとのためならず
③数年前に始めた西国三十三ヵ所と四国八十八ヵ所を満願したことです。



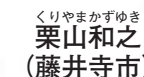
た に ぐ ち ひ ろ
谷口千穂 (大阪市北区)



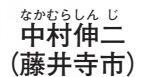
さ の ま さ ひ ろ
佐野正博 (大阪市城東区)



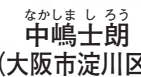
い と う は る と
伊藤晴人 (大東市)



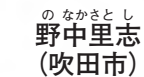
くりやまかずゆき
栗山和之 (藤井寺市)



な か む ら し ん じ
中村伸二 (藤井寺市)



な か し ま し ろ う
中嶋士朗 (大阪市淀川区)



の な か し と し
野中里志 (吹田市)



や ぐ ら た つ お
矢倉龍男 (千早赤阪村)



な か し ま し ろ う
中嶋士朗 (大阪市淀川区)



の な か し と し
野中里志 (吹田市)

地相協研修会

令和6年度大阪行政相談委員協議会研修会報告

研修委員会 委員長 前川 優



令和6年度の地相協研修は施設見学と講演の隔年開催のうち後者に当たり、研修委員会でテーマ・会場などを検討の結果、令和7年2月18日に東

大阪市文化創造館小ホールにおいて「社会福祉協議会って何？」をテーマに開催しました。

定刻の14時に森田研修委員長の司会のもと、地相協大草会長・東大阪市長・近畿管区行政評価局長のご挨拶があり、大阪府社会福祉協議会の方による講演が始まりました。

今回の研修のテーマである「社協って何？」に沿って「まずは結論から言うと、住民主体の理念に基づき、地域住民やボランティアの参加による地域の様々な福祉・生活課題の解決に取り組む組織」なのだという説明がありました。私自身は「いやいやそれではまだ漠然としていて・・・」というのが率直な感想です。社協は行政ではなく社会福祉法人であり民間の非営利組織であるという説明で徐々にイメージが掴めてきました。

被災地からの報道で見られる災害復旧ボランティアの取りまとめであったり、共同募金の事務局であったりというような業務はよく目にしますが、それは業務のほんのごく一部で、民生委員児童委員協議会の事務局であったり、介護、地域包括支援センター・生活困窮者自立支援など、地域社会が抱える数多くの問題の支援・解決に

取り組んでいる組織であることを認識したのです。

後半は開催地である東大阪市社会福祉協議会の方のお話でした。府社協の事業内容に加えて、東大阪社協独自で進めておられる事業についてのお話も多く、終了後に参加者の方にお聞きしても、自分の地域の社協とは異なり、活動分野の広範なこと、そしてその内容が充実して先進的であることなど、今後の地域の活動に大いに参考になったと言っておられました。また我々行政相談委員活動の中でも近年見られる成年後見の問題についても触れられましたが、これら多くの地域課題について当日配られたレジュメを読み返すにつけ、更なる学習の必要を感じないではいられません。

充実した研修内容に対して講師の府社協・東大阪市社協の方々に感謝申し上げるとともに、会場手配等に御助力いただいた東大阪市の研修委員の皆さんに感謝申し上げる次第です。

今回の研修の参加者は56人でしたが、平成12年度以降の研修実績を見てみると参加人員は減少傾向にあります。既に支部自主研修で組み込まれたテーマでもあったと考えられますが、近年の法改正などによって、外見的には同じテーマであっても学び直す必要があることも多々あり、改めて行政相談委員として相談活動自体が日々学びの場でもあることを再認識させられました。

研修委員会

委員長 前川 優



研修委員会は森田委員長
を議長として下記の4回、委
員会を開催しました。

第1回 令和6年4月26日

第2回 同 7月17日

第3回 同 10月28日

第4回 令和7年3月21日

各回とも午前11時から正午迄の1時間ですが、
効率的に討議が進められたと思っています。

地相協研修会は施設見学と講演会を交互に行っており、令和6年度は講演会の年度に当たるため、何を講演テーマにするかを各委員から出し合い、第2回会議で集約した結果「社協って何」に決定しました。社協＝社会福祉委員会の存在は知っていても市町村ごとに行っている事業内容に相違があり、日ごろの相談活動でも福祉に関わる事案が多いこと、そして事案ごとに行政の窓口が多岐にわたることから社協に関する研修がふさわしいという結論になったのです。会場は大阪府の中間に位置する東大阪市の文化創造館とし、同市の委員の方に会場確保等のお世話をいただき、講師には府社協と東大阪市社協にお願いしました。

研修会当日の様子は別途報告に譲りますが、研修委員の皆さんに会場設営や案内・受付などを担当していただき、第4回でその総括などの終了後、評価局近くで昼食会を開催して親交を深め合いました。

編集委員会

副委員長 松浦隆行



「あし」39号作成について、3月25日に第1回編集委員会を開催し、次号の編集方針、各記事のテーマや各支部の分担などについて話し合いました。特集テーマ

については、各委員とも異論なく、令和6年元日午後に発災した「能登半島地震」を取り上げることにになりました。最近では、「コロナ」や「ウクライナ問題」など大きな出来事が続いたため、特集についてはあまり議論になることがありません（平穏な世界・日常が戻って欲しいのですが）。南海トラフ巨大地震が予測されるなか、この問題は、今後も続けて取り上げていく必要があると思っています。「ショートショート」では、緊張を緩和する意味もあり、「私のリラックスタイム」とし、ちょっとほっこりするテーマとしました。以後7月末まで4回の委員会を開催し、編集作業を行い、通常通り9月発行することができました。

編集委員会の作業内容について、この場で少し紹介したいと思います。

「編集委員会は集めた原稿を印刷屋に渡すだけなのに、なぜ締切が早いのか?」「委員会を4回も開催して何をしているのか?」と、言われます。行政評価局の管理職の方が編集委員会を見学に来られ、毎回2時間程度開催している委員会の議論内容をみて驚いておられました。集まった原稿すべてを全員で、誤字脱字、文章表現の誤り、内容の事実関係の正確性、人権など問題表現の有無などの観点からチェックを行っています。見学した局の方が「編集委員会がこんな厳密な作業をしているとは知りませんでした。」とおっしゃっていました。

編集委員会では、このような作業を行い「あし」を作成しています。皆さま、ご協力の程よろしくお願いいたします。

相談業務委員会

委員長 井田一裕



行政相談制度の利便性向上を促進し、地域住民の潜在的な行政に対する苦情、意見、要望を発掘するとともに、行政相談委員制度の普及・啓発を図る観点から、大阪行政相談委員協議会主催の「暮らしと行政何でも相談」と銘打った一日行政相談所を、6支部輪番制で年1回行政相談月間に開設しています。令和6年度は、11月26日(火) 泉州支部岸和田市のopsol（おぷそる）福祉総合センター 3階の大会議室で開設しました。開設に先立ち11月18日(月) 11時～12時広報委員会、泉州支部と協働で岸和田カンカンベイサイドモール他2か所、26日当日にも岸和田駅周辺でも開催案内チラシを入れたポケットティッシュを配布して街頭キャンペーンを実施しました。

相談項目は、法律（弁護士）、登記（司法書士）、税金（税理士）、相続（行政書士）、男女・家庭（行政相談委員）、年金相談（日本年金機構）、行政（近畿管区行政評価局・行政相談委員）で、相談件数は51件でしたが、相談に来られた方からは「親切・丁寧に対応していただき良かった」、「相談して肩の荷が下りほっとした」との言葉をいただきました。また、相談あたり士業の資格を有される行政相談委員会のご協力をいただきましたことに篤く感謝申し上げます。

令和7年度も相談項目の充実及び行政相談委員制度の普及・啓発を図っていきたくて考えておりますので、関係者のご協力をよろしくお願い申し上げます。

広報委員会

副委員長 乾 敦子



広報委員会は年3回の委員会を開催し、その年の啓発物品や広報に関する物品作成を話し合います。令和6年度まで数年間エコバッグ作成を企画しました。年々異なるエコバッグを考えましたが、令和6年度は少し大きめでファスナーの付いたエコバッグが出来上がりました。出来上がった時、あまりにも宣伝しすぎて、女性の委員の方から「そんなに素敵なバッグなら、私たちにも欲しい。」と言われました。ちょっと宣伝しすぎました。差し上げたあとで委員の皆様が「期待外れ」と言われないか、今度はそれが少し心配になってきました。

エコバッグ以外は行政相談キャンペーンや出前教室等のティッシュやボールペン等を話し合いで決めました。令和6年度は「暮らしと何でも相談」に関する広報活動で、岸和田市・春木の商業施設へ街頭キャンペーンでティッシュ配りに行きました。ただ大阪の繁華街のように人がおられなくて、ティッシュを配布するのに困りました。人がバラバラとしか来られないので、来られると傍まで駆け寄り、ティッシュを渡しながら、懇切丁寧に行政相談の説明をしました。ティッシュ配りはもう少し人通りがないと成り立たないと思いました。他は毎年恒例の行政月間にターミナル等でティッシュを配り、行政相談を啓発しました。

ホームページ運営委員会

委員長 西野 房 男



昨年度のホームページ運営委員会では、主たる活動として各支部や各委員会の活動をホームページ・フェイスブック・X（旧ツイッター）に掲載し委員活動を

啓発してまいりました。（総掲載数97件 下記QRコード参照）

また、重要課題としてICTを活用して「メールでつなぐ行政相談委員活動」をテーマに、スマホ勉強会を8回（メールの送受信・QRコードの読み取り・音声入力・カレンダー・録音等）を、AndroidとiPhoneに分けて委員から順次担当者を決めて操作内容を説明、今まで何となく使っていた項目でもこんな使い方があるのかというのが多々ありました。

また、よく使われる表計算ソフトの「Microsoft Excel」について入門編として、効率的なデータ入力、表作成からの関数を使っての計算、グラフ作成など6回に渡って行いました。これら勉強会は毎月初めに皆様方へ勉強会の案内として、メールアドレスを行政評価局へ届けておられる方に送信させて頂き、数名の委員さんにオンラインで参加していただきました。

今年度におきましては、3月で退任された委員3名の補充と、数種のホームページ編集作業が出来る委員の育成。皆様方へは行政評価局への毎月の報告をスマホ、タブレット、パソコンから簡単に入力・送信が出来る、マイクロソフトフォームズによるオンライン報告の解説や、本省から送られてきている「行政相談委員のデジタル活用に係る研修教材 動画リンク」などを使ってデジタル活用の支援をしてまいります。



男女共同参画委員会

副委員長 富田 久 子



行政相談委員は地域住民の身近な相談窓口、行政との懸け橋ですが、当委員会では男女共同参画に関する相談（セクシャルハラスメント、

DV、その他家庭内の悩み等）を担当しています。

そして、男女共同参画に関する苦情に対する行政相談委員としての案件処理能力充実に向けた研修や交流に取り組んでいます。

【令和6年度の主な実績】

- ①委員会開催（年4回）
- ②男女共同参画コーナー担当として、各地区で開催の「合同行政相談所」等、大丸心斎橋店の「大阪総合行政相談所」（月2回）に参加
- ③内閣府主催「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」等に参加

- ④男女共同参画に関する研修会の開催（2回）

㊦日時：令和6年11月25日（月）14時～

対象：大阪府行政相談委員協議会会員

講師：平井勝之氏（大阪府警察本部人身安全対策室）

演題：ストーカー、DV被害の現状等について

参加：23名（オンライン参加を含む）

①日時：令和7年1月20日（月）14時～

対象：近畿管内男女共同参画担当委員

大阪府行政相談委員協議会会員

講師：旭堂南海氏（講師）

演題：講師の歴史、女性講師の台頭、
講談「女侠客 奴の小萬」

参加：92名（オンライン参加を含む）

7年度も、皆さまの日々の相談に役立たせてもらえる研修や交流を検討/企画してまいります。

大阪第1支部

福田 留美 (大阪市西淀川区)



令和6年10月31日(木) 午後、大手前合同庁舎5階災害対策室にて大阪第1支部研修会が開催されました。

局長及び第1支部の挨拶の後、「区社会福祉協議会の業務」について、中央区社会福祉協議会 古道典子事務局長と城東区社会福祉協議会 河元義和事務局長よりご講演をいただきました。

各区の特徴や高齢化率の比較、社会福祉協議会の役割について説明がありました。

- ① 小地域福祉活動支援(食事サービス、喫茶・サロン、見守り、居場所づくり、世代間交流、連絡会などネットワークづくり)
- ② 参画協働による地域づくり・場づくり(ボランティア・市民活動、福祉教育、居場所の立ち上げ・継続支援、公益活動の推進など)
- ③ 生活・福祉課題への対応、要援護者見守りネットワーク強化事業(要援護者名簿作成、孤立世帯等への専門的対応、認知症高齢者等の行方不明時の早期発見など)、生活支援体制整備事業(活動参加支援、ヘルスチェック、スマホ・パソコン相談会、情報提供など)、介護予防事業、生活福祉資金貸付事業、あんしんさぽーと事業
- ④ 防災・災害への備え(住民・関係機関との協同による災害時に備えた体制づくり、災害ボランティアセンターの運営など)、地域包括センター、老人福祉センター、子供・子育てプラザの運営、その他、多岐にわたる事業を実施。生活相談や、発達障害・不登校ひきこもりなど当事者会、食料支援活動など

多様な連携協働により「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」地域福祉の推進について具体的に学べる研修会でした。

大阪第2支部

長田 幹雄 (大阪市住之江区)



日時…令和7年1月28日(火)
13:00～16:30

会場…近畿管区行政評価局
(大手前合同庁舎11階会議室)
及び大阪府警本部

参加者…18名

研修目的…行政相談委員としての視野を広げること

内容

1.①大阪府警察本部施設見学 (13:30～14:50)

(イ)広報コーナーで特殊詐欺DVD視聴。国際電話番号による特殊詐欺が急増中、海外電話が不要な方は、休止手続きが可能。還付金詐欺(ニセ役所職員・ニセ銀行員騙り)が被害中最多。

(ロ)通信指令室見学(昼夜交代で市内・府下の事故発生状況を大画面で対応)

(ハ)交通管制センター見学(道路交通状況を大画面で対応)

②講演

会場：近畿行政評価局11階会議室 (15:10～15:50)

講師：高度情報推進局サイバーセキュリティ対策課 警部補 廣島靖久様

内容：インターネット空間の脅威について、「闇バイト」「SNS投資詐欺」「インターネット上に書き込み」等の犯罪が多発し巧妙化、凶悪化している。多岐に亘る相談窓口があることを知ってほしい。

2.委員活動報告 (16:10～16:25)

担当区…住之江区(報告者：長田委員) 木材不法投棄改善事例、区民まつり啓発活動、定例行政相談の写真を添付して報告。

3.まとめ

今回の見学と講演を通じて、我々行政相談委員が学んだ内容は、SNSを用いた犯罪が急拡大をしており、市民生活のあらゆる分野で危険にさらされていること、警察行政が24時間体制で安全安心に腐心をされておられること、を知ることができました。万博開催中であって、大阪府警察本部の重責に改めて敬意を表します。

北摂支部 「ペップトーク」を学ぶ

間 石 成 人 (高槻市)



令和6年11月8日、北摂支部の自主研修会が高槻市役所で開かれました。

第1部は、日本ペップトーク普及協会の福成二三

代氏を講師に、「ペップトークを身につけよう～有意義な行政相談をするために～」とのテーマでの講演でした。ペップトークとは、アメリカのスポーツ現場が発祥の言葉がけの技術で、一例として大谷翔平選手がWBC決勝戦前に「憧れるのをやめましょう」と日本人選手を鼓舞したエピソードが紹介されました。相手が持っている能力を言葉により最大限引き出し、成功のイメージ、前向きな心の状態をつくることを目的としたコミュニケーションスキルであることをさまざまな例を使いながら説明され、例題を用いたトレーニングでその手法を学びました。

第2部「高槻市の史跡案内」では、ハニワ工場公園として整備された史跡新池埴輪製作遺跡に足を運び、今城塚古代歴史館宮崎館長の軽妙な説明に耳を傾けつつ、古墳時代5世紀から6世紀の約100年間に栄えた日本最大級の埴輪工場の窯跡群などを見学しました。

行政相談委員と職員の合計31名が出席し、行政相談での言葉がけのスキルと地域の歴史を学ぶことができた有意義な自主研修会となりました。

河内第1支部 楠 好 子 (寝屋川市)



令和6年11月15日(金)、寝屋川市役所 議会棟において、自主研修会が開催されました。

支部長の開会の言葉で始まり、各来賓の方々のご挨拶と紹介の後、研修会が始まりました。

第1部は、講演として大阪府警察 生活安全指導班による防犯教室、「還付金詐欺」と「SNS型投資詐欺」の寸劇を面白おかしく演じられました。詐欺被害にあわないための対策と予防をわかりやすく紹介されました。続いて、寝屋川警察 交通課から高齢者の交通事故が増加していて、7割が交差点で発生していると説明されました。危険、無理な横断はやめ、交通ルールを守りましょうと話されました。

第2部は事例発表に移り、守口市からは河野委員が、郵便ポストの設置、私有地から伸びた雑草により通行に支障、アスベストの健康被害についてなど、多岐にわたった3件の事例発表がありました。

引き続き、寝屋川市からは私が通行量の多い道路の凹凸の補修と、通学路にある見えにくくなった横断歩道の白線の塗装について発表を行いました。

最後に、評価局行政相談課 塙課長より講評をいただき、研修会は終了しました。

河内第2支部 河合雅世（東大阪市）



令和6年12月16日、河内第2支部の研修として「大阪再発見②」のテーマで、天王寺、通天閣界隈を訪ねました。

最初は、新しい観光スポットとなり、府民の憩いの場所となった天王寺公園「てんしば」に行きました。てんしばでは様々なイベントが開催されており、研修当日はクリスマスツリーが飾られ、マーケットが開かれていました。明るく広々とした空間で、ベビーカーを押した家族や、子どもの姿を多く見かけました。てんしばから大阪市立美術館の前を通り、大坂冬・夏の陣で激戦地となった「茶臼山」（標高26メートル）を散策し、新世界の人の賑わいを感じながら「通天閣」に行きました。

通天閣では、会長さんが出迎えて下さり、明治36年開催の第5回内国勧業博覧会の跡地に明治45年に建設された事や、現在の建物は2代目である事等の歴史を説明していただきました。また、入場招待券やレトルトカレーも戴きました。展望台で大阪を一望し、ビリケンさんの足を撫でて研修会を終了しました。新しいアトラクションも出来、若い人や海外の方が多く、活気溢れる場所でした。

今度は、家族と訪れたい所となりました。

泉州支部 泉州支部自主研修会報告

前川 優（泉南市）



泉州支部では自主研修会を行うにあたり、テーマ等について検討の結果、激甚災害が頻発する昨今、そして南海トラフ地震が遠くない将来に発生するであろうことを踏まえ「正しく恐れる」を念頭に、それにふさわしい施設として堺市総合防災センターを選び11月22日に受講・見学を行いました。

支部長・局長あいさつと総務大臣表彰受彰者へのお祝い金贈呈ののち「避難所生活コース」を受講。映像による災害学習・マンホールトイレ見学や要支援者体験によって、災害時の避難生活や、自分が要支援者であることを想定した避難の困難さなどを学び、広大な敷地内に設置された防災倉庫・備蓄倉庫を見学して各委員の担当市町の備蓄の概要を把握しておくことを申し合わせました。

今回の研修を通じ単に災害を怖がるのではなく正しく恐れる重要性を再認識しました。

今回の研修を通じ単に災害を怖がるのではなく正しく恐れる重要性を再認識しました。



吉 原 隆 (福島区)



♪こんにちは、こんにちは、
世界の国から～

このメロディを初めて口ず
さんで55年…その時私は小
学校5年生でした。

1970年の開催テーマは
「人類の進歩と調和」で77か国が参加して開催
され、連日多くの人たちで会場が賑わっていた記
憶があります。当時の話題は、特にアポロ12号が
持ち帰った「月の石」と「電気自動車・自転車」
と「移動式電話」だったような気がします。

あれから55年の歳月が経ち、今では宇宙旅行
も実現しつつあり、電気自動車や電動自転車も
当たり前のように普及し、携帯電話もキャッシ
ュレス機能も誰もが使う必需品となりました。当時
では夢のような話が今では現実となり、私たちを
取り巻く環境は目まぐるしく進歩し便利になりま
した。

今回の万博は約158か国が参加し、テーマは
「いのち輝く未来社会のデザイン」です。「空飛
ぶ車」やロボットが料理する「未来レストラン」
や「医療の進歩」など、今回紹介される技術もま
た数十年先にはきっと実現されているのでしょ
う！

世界中で自然破壊や紛争などがなく、誰もが
健康で心豊かな未来を実現するための参考とな
る「いのち輝く未来社会のデザイン」を是非この
目で確かめてみたいです。大阪で2回目の万博を
体験できる私は幸せ者ですし、感謝の気持ちをも
って行かせていただきます。

この万博が55年前の私が強く感じた「夢と希
望」を今の子供たちも抱けるような、そして多く
の人が楽しめてみんなの記憶に残る万国博覧会
になる事を願います。

乾 敦 子 (東住吉区)



今から55年前、大阪千里
の丘で万博が催されました。

当時、若かった私は万博を
楽しみに千里まで10回以上
足を運びました。岡本太郎の
「太陽の塔」がシンボルでし

た。三菱未来館やアメリカ館等が人気のあるパ
ビリオンの4時間待ちは普通で、又それを苦に思
いませんでした。

そして55年過ぎた今又大阪・夢洲で万博が行
われました。今回のシンボルは木造の「大屋根リ
ング」で海まで突き出た大きな円形で円周約2km
の立派な建物です。テレビで万博を宣伝してい
ますが、あの広い会場を見て回るだけの元気と
若さが今はあるのかが不安です。尤も若い方や
外国の方がたくさん行かれるでしょう。

55年前の万博から、日本は大きく変わったと
思います。私の子どもの頃は日本製よりドイツ
製、イタリア製等欧米製品の方が丈夫で信用が
ありました。そして日本人が欧米等の外国製品に
憧れたのです。しかし今は違います。食品や工
業製品・車・服や靴など日用品まで、日本製品は
素晴らしいです。食品にしてもお米は美味しいし、
食べ物も美味しくて安全です。服や裁縫が上手
で綺麗で丈夫です。この日本製品の良さを、万
博を通じて世界各国の人々に今こそ知ってもら
う時です。日本は資源のない国なので、日本人の
勤勉さ、素晴らしい頭脳でこの世界を生きていく
しかありません。今回の万博を通じて「日本は食
べ物や作っているものは優れている。」と世界に
売り込み「日本製品は良いから欲しい。」と言っ
て諸外国から熱望されることを願っています。

内 田 幸 代 (茨木市)



私は1970年万博の時、長崎に住んでいました。大阪はとても遠い感じがして、万博にはいきませんでした。山陽新幹線の開通は1971年でした。

その後、縁あって、万博記念公園のお隣茨木市に住んで48年になります。自宅から万博ロードを歩いて、万博記念公園まで45分ほどです。日本庭園・国立民族学博物館・大阪日本民芸館など、お気に入りの場所がたくさんあります。21年前までは、国立国際美術館もありました。退職してから万博記念公園は散歩で日常的に行く場所になりました。万博跡地の広い広い公園には、55年の月日の積み重ねがつくった縁深い森があります。ほっと息抜きができる大好きな場所です。太陽の塔も大好きです。そのエネルギーあふれる姿に背筋が伸びます。私はこれまで万博の残したものに、たくさんの元気と幸せをもらってきました。

そして、2025大阪・関西万博。会場中央に作られた「静けさの森」の木々は、その半分が万博記念公園内で伐採予定だった木々を移植して再生したものとか。この森の中で、生態系のつながりや循環を感じて、未来について多層的に考えてほしいという思いが込められているそうです。「静けさの森」の中で、どんなことを感じるのか、今回の万博には行ってみようと思います。夢洲は少し遠いけれど。

平 井 正 丈 (交野市)



1970年の万博では国内の多くの企業グループ、自動車や電気通信業界などが展示館を持ちワクワクする近未来の姿を見せてくれました。人間洗濯機も実演され黒山の

人ばかりでした。会場では多くのロボットが動いており、私は『鉄腕アトム』や『鉄人28号』で育った理系の大学生であったこともあり、大変興味をそそられました。高い技術力が世界に認められ始めた高度成長期を万博は色濃く映し出していました。

アメリカ館では前年に人類初めて月に降り立ったアポロ号の実物や月の石が、ソ連館でも人工衛星や宇宙船が展示され、宇宙開発競争が万博でも火花を散らしていました。海外展示館では世界旅行をしているようでした。カナダ館ではロッキー山脈や全山紅葉の山々が、イタリア館ではローマやベネチアなどの街が、壁いっぱいの大きなマルチスクリーンに映し出され迫ってきました。この体験が後のカナディアンロッキーやメイプル街道、イタリアなどへの旅行につながりました。

今回の万博ではIPS細胞を使ったミニ心臓が動いています。生命科学がどんな夢を見せてくれるのでしょうか。万博は日本にしながら世界に触れられるまたとないチャンスです。日本はエネルギーや食料の多くを輸入しており、ますます世界との関係が深くなっていきます。日本の未来を切り拓く若者や子どもたちが先端技術と世界を体感してくれることを願っています。

加 茂 守 一（東大阪市）



後期高齢者になった現在、大阪万博2025が開催され、連日多くの入場者で夢洲は賑わっております。

一方で私にとっての大阪万博といえば、弱冠二十歳であった55年前に開催された、記憶にあるだけでも20数回通った「日本万国博覧会;Expo'70」でございます。

当時私は日本体育大学の学生でした。日体大は全国から（沖縄が返還されたのは'72年）スポーツに秀でた若人が在学する全寮制の大学でした。そのことから、延べで100人近くの全年に亘る知り合いの学生が私の実家に宿泊し、万博を案内する日々が続いた次第でございます。7～8人の来阪の時には、大阪の高校時代の友人に頼んで車を出してもらい2～3台の車で案内したこともありました。冒頭に20数回万博を訪れたと書きましたのはこのようなことが理由でございました。ただそれだけの回数を重ねましたが、米国館の「月の石」は見たことはありません。といいますのも毎回3～4時間待ちの状態の入館しなかったことによります。

当時の日本は公害問題が存在するとはいえ高度経済成長の真っ直中にあり、将来はより豊かな生活になるという希望が持てた時代でした。そのような中での万博でしたので、「動く歩道」「携帯電話」等現在では当たり前のものが将来の豊かさを暗示するものとして展示され、衝撃的な経験として今も強く記憶に残っております。

以上、「大阪万博」に関する半世紀余り遡る「昔話」を披瀝いたしました。おしまい、おしまい。

橘 本 正 義（忠岡町）
（R7.5 退任）



大阪・関西万博（EXPO 2025）4月13日から10月13日までの184日間、大阪市の人口島・夢洲（ゆめしま）で55年ぶりに開催されます。

日本万国博覧会、1970年3月15日から9月13日までの183日間、大坂千里丘陵地で、当時の先端技術を駆使して建て

られたパビリオンが林立する未来都市空間。さまざまな樹木や草花植え、太陽の塔を中心に、世界中の人々が参加し、大イベントが展開されました。

当時、20歳の活気盛んな私は、EXPO70のテーマ「人類の進歩と調和」もっぱら技術文明の進歩を示すだけでなく、その進歩が、同時に自然や人間性を損なうなど、様々なひずみに目を向けて、「調和」のある「進歩」をどう実現していくのかに期待して何度も足を運んだことか。特に、目玉イベントであった、月の石に、見学時間1分から2分に3時間から4時間も並び数回会場に足を運んだことを思い出しました。

ニュースで聞いたところ、今回のEXPO2025でも、アメリカのパビリオンで当時の月の石が展示されると聞いたが本当だろうか？本当であれば是非もう一度見たいものであります。また、目玉展示とされる「火星の石」。国立極地研究所で保管されていた隕石で、政府が出展する「日本館」で初めて広く一般公開される。火星の石として世界最大級との触れ込みだが、なぜ火星から飛んできたと分かるのか？

当時の入場料は大人（23歳以上）800円、青年（15～22歳）600円、小人（4～14歳）400円でした。あれから55年、今回の入場料は如何なものか？あれから55年、ここ大阪で2度目の開催となり、胸の高まる思いをしております。

2025年大阪・関西万博で実現することは、最先端技術など世界の英知が結集し新たなアイデアを創造発信する大イベントであります。メイン建築である、大屋根リングは、「最大の木造建築」として、2025年3月4日にギネス世界記録に認定されました。外径約675m是非、老体に鞭打ってこの足で歩いてみたいものです。

世界中の国から参加されるパビリオンの建設の工期が遅れていることが懸念されましたが、開催日までには完成されることを期待したいと思います。

「万博」には、人・モノを呼び寄せる求心力と発信力があります。世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場です。

私達、行政相談委員として国民の皆様方のあらゆる相談事に対応する為にも視野見聞を広め、このような大イベントに目を向けて、体験参加したいものであります。

ショート・ショート【昭和から100年～最も変わったことは?～】

三田 和夫
(大阪市淀川区)



行政相談委員として地域住民の方から国の制度や決まりについて相談を受けることは、地域住民への支援ができることであり、行政相談委員として喜びに繋がり、行政相談委員は相談者に感謝します。そして、相談者に回答を連絡すると、相談者から感謝されます。その感謝の言葉に行政相談委員としての更なる喜びを感じる時です。私にとって変わったこと、行政相談を受けることは、相談者に感謝することであり、感謝を提供することです。

福留 千佳
(大阪市西成区)



昭和から100年、日本は戦争の苦難を乗り越え「平和国家」として進化しました。漫画・アニメは日本文化の象徴となり、「アンパンマン」のやなせたかしさんの作品は平和と優しさを描き、「ドラえもん」は子どもの夢を現実にしました。タケコプターはドローン、翻訳こんにゃくは翻訳アプリ、4次元ポケットはクラウドストレージへ。ドラえもんの「毎日の努力が歴史を作る」という言葉通り、先人の努力が現在を支え、次世代への勇気を紡いでいます。

平安 孝至
(池田市)



昭和の時代から大きく変わったことは「テレビ」じゃないかなと思います。私が子供のころは決まった時間に家族みんなで同じ番組を見るのが当たり前で、チャンネル争いも日常茶飯事でした。しかし現在は配信サービスやYouTubeなどの普及により、自分の好きな時間に好きな番組を視聴するスタイルへと変化してきています。少し寂しいですが家族団欒の中心だったテレビは個人の娯楽へと役割を変えたのかもしれない。

交久瀬和広
(枚方市)



私は、NHKの新日本紀行（再放送）をよく見ます。なぜなら、「あれから〇十年…」と続き現在の暮らしや伝統・文化の継承と変化を映し出す内容が面白いからです。
一方で、自給自足の生活を営む人たちを取材した番組もよく見ます。
昭和初期～戦後の高度経済成長期前まで、日常的にはごみやし尿処理など自家処理が当たり前だったものが行政対応となり、社会的には公害や住居・交通等の都市問題に多額の税金が使われるようになりました。
このように、昭和100年で最も変わったのは、非市場経済の有り様ではないかと思います。

小路 庸吉
(太子町)



今年、昭和が続いているとすれば、昭和100年になります。この100年は戦争、高度経済成長、バブル崩壊からデフレと目まぐるしく変化してきました。それにつれ、人口も変化し、近年では著しく減少し、特に少子化は勢いづいています。私の子どもの頃は教室は生徒で溢れていましたが、今はがらがらです。今後、日本がどうなるか予想できませんが、子ども達が平和で豊かに暮らせる社会になって望ましいと願っています。

富田 久子
(堺市西区)



今年で75歳になります。100歳ではないですが、「昭和100年、最も変わったことは？」の答えは「トイレ」です。まずは、汲取り式から水洗トイレに変化、更に蓋が自動開閉など凄い進歩です。そして、女性/男性トイレの変化です。女性の個室トイレが増加し、待ち行列が随分解消しました。更に、以前は女性トイレにだけベビーベッドが設置、今や男性トイレにベビーチェア/おむつ交換台が設置されています。ジェンダーバイアス解消の視点がトイレにもやってきました。

私の住む町

MY TOWN 住吉区



街なのか町なのか、そんな言葉遊びをしても仕方が

ないので、今住んでいるところはどちらかという
と街なので、以後街と表現する。どの街も一
長一短、それぞれ良いところと不都合なところ
があると思う。

今住んでいる街は、暮らしはじめて26年が
過ぎている。私は出身地（大阪）、学生下宿や
以前の職場で、様々な街で暮らしてきた。茨城
県の大平原（私なりの表現で許してほしい）に
住んでいた時もあれば、東京の中央区、いわゆ
る都会のど真ん中に住んでいた時もある。「郷
に入っては郷に従え」の教えのとおり、そこで
の暮らしに順応し、どちらかというに変化を楽
しんできた。若かったからできたのかもしれない。
齢55歳も過ぎると住む場所はなかなか変
えられないため、今の「私の住む街」にどっぷ
り浸かっている。

私の住む街は、大阪市内の南部である。まだ
畑や田んぼ、大きな公園や植物園もあるのでト
ンボや蝶も舞っており、都会でありながら季節
感や生命の息吹を感じる素敵な場所だと思っ
ている。一方、近くの幹線道路にある交差点が、
昨年とても不名誉な称号「交通事故多発交差点
として全国ワースト1位」をいただいた。東京
池袋の六ツ又交差点と同率一位となっていた。

宮川 成雄（住吉区）

何たる不名誉と思い、地域としても注意喚起や
啓発活動を行っている。

さてロマンを感じさせる話題、土地としては
歴史が古く、私が総代を担う神社も延喜式神社
である。渡来人と言われる外国の人たち、古代
中国、果てはヨーロッパやアフリカとの交易す
る商人たちが通った、終着点と言われる古都奈
良へと導く道「磯鹺津路（しはつみち）」沿い
にある。広い意味でシルクロードの東端である。
現在の住吉大社のあたり、長い船旅でようやく
住吉津といわれる浜に降り立った外国の方々
が、奈良の都へと目指した道、また奈良の都の
人たちなどが、外国へ行くために通った道沿い
に、わが街はある。今でも流通の多い場所で交
通事故は確かにあるが、人々が行き交う賑やか
な素敵な場所である。



大阪の渡船は今

松浦隆行 (城東区)

「たった三十五銭をにぎりしめて、八田伍平は大阪へ出た。明治二十九年の三月はじめが、その日だった。」一山崎豊子のデビュー作『暖簾』の冒頭です。十五歳の伍平が、故郷の淡路島から10時間かけ、船で初めて大阪に着いたのは「富島の船着場」であり、そこから新しい「大阪商人」の物語が始まりました。

「富島」の渡船場(西区～福島区)は当時個人営業でしたが、明治40年に大阪市営になりました。昭和6年に中央卸売市場が開設されてからは、仕入れに通う商人に利用されましたが、自動車の普及に伴い昭和57年に廃止されました。現在は安治川左岸側(西区)に顕彰碑が設置されています。

古来水都と言われ、多くの河川がある大阪は人々の往来のため多くの渡し場がありました。明治40年には、安治川、尻無川、淀川筋の29の渡船場が市営事業として大阪市が管理することになりました。戦災もあり戦後15か所で再開されましたが、その後、橋が架けられたり、行政改革などで廃止が続き、令和7年現在、8か所が残るのみになっています。

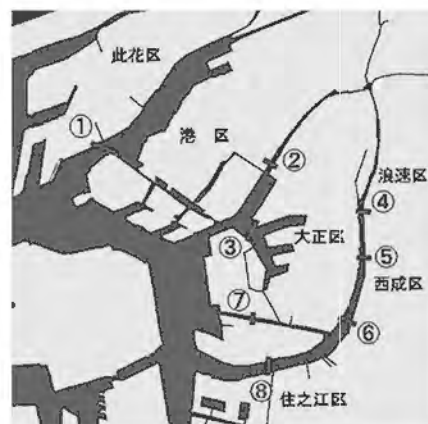
渡船についての私の小学生時代の思い出は、淀川にあった旭区と東淀川区を結ぶ『平田(へいた)の渡し』です。渡船に乗って友達と一緒に淀川の向こう岸に渡ったり、戻ったりして遊んでいて、船長さんから「渡船で遊ぶな」と怒られてしまいました。江戸時代延宝4年(1676年)からの渡しですが、昭和45年に豊里大橋が開通したことにより300年の歴史に幕を閉じました。

機関誌「あし」32号(平成29年)の表紙写真は、定番の「橋」ではなく「船」になっています。大正区と西成区を結ぶ『千本松渡し』の渡船です。行政相談課や編集委員の皆さんから「なぜ橋ではなく船なの?」と問われました。「渡船」は道路法上、橋と同じく道路の位置づけで、橋

も渡船も河を渡る施設として無料で利用できます。昭和48年に千本松大橋が完成しましたが、大型船が出入りする臨港部であるため橋の位置が非常に高く、地元住民の強い要望により橋ができたのに渡船が廃止されず、通勤通学の足として残ることになり、「あし」の表紙写真で紹介することになりました。

これまで大阪を舞台にした映画でも「渡船」が背景や舞台になりました。『男はつらいよ・浪花の恋の寅次郎』では、寅さんがマドンナ松坂慶子と一緒に彼女の弟を訪ねる場面で安治川の『3丁目の渡し』(平成元年廃止)が背景になりました。また大竹しのぶ主演の『後妻業の女』では、大竹しのぶが自転車を盗んで大正区の『船町渡し』(現存)を走る場面などが見られました。

最近、大阪の渡船はインバウンドもあり観光資源として注目され、メディアでも取り上げられるようになってきました。通勤通学に利用されている大阪の渡船が、近大都市大阪の風情を感じさせているのかも知れません。





編 集 後 記

ついに「大阪・関西万博」が開催されました。2018年に招致が決定して早や7年。コロナの世界的蔓延、ウクライナ侵略、大規模地震、大型台風等々、決して平坦な道のりではありませんでした。しかし、大屋根リングがその姿を現わした時、「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念をしっかりと汲み取ることが出来ました。万博の理念に未来への期待もふくらみます。

編集委員会は細かい作業の積み重ねです。お預かりした皆様の原稿を丁寧にひとつずつ組み上げていきます。校正が完了した時の安堵感は実に心地よいものです。編集委員会総出の知恵の結集をどうぞご覧ください。

編集委員会 原さつき（北摂支部）



編集委員会コーナー

☆あし編集委員名簿☆

藤岡 晴美（大阪第1）
 松浦 隆行（ ） 副委員長
 辻江 正幸（大阪第2）
 西村 譲治（ ）
 原 さつき（北 摂） 委員長
 内田 幸代（ ）
 角 咲子（河内第1） 副委員長
 楠 好子（ ）
 村井みさ子（河内第2）
 河合 雅世（ ）
 竹中 千世（泉 州）
 武輪小百合（ ）

大阪行政相談委員協議会機関誌

「あ し」 第40号

発行日… 令和7年9月1日

発行所… 大阪行政相談委員協議会
 大阪市中央区大手前3-1-41
 大手前合同庁舎11階
 近畿管区行政評価局
 総務行政相談部行政相談課
 電話(06) 6941-8358(直)
 FAX(06) 6941-8988

URL <http://osaka-gyouseisoudan.org/>

秘密厳守
相談無料

総務省行政相談センター

きくみみ

どこに相談すればいいか、わからない—
そんな時はひとりで抱えこまず、
行政相談へ。年金、子育て、被災者支援…
どんなお悩みも一緒に考えます

お困りごとに
「聞く耳」
あります!

行政相談マスコット
キクーン

医療保険・
年金のこと

子育てのこと

被災者支援
のこと

雇用のこと



こちらからご相談いただけます

きくみみ



チャットボットも
ぜひご活用
ください!

国・地方共通相談チャットボット

ガボット

Govbot



がぼたん



☎0570-090110

または、お近くの行政相談委員へ
お気軽にお声がけください!